

# 脱プラ・木質化 R&D 通信

「無垢材」の活用で、日本の林産・木材業を応援する！

vol.14

発行日：2026年1月19日

こんにちは、ナイス株式会社 脱プラ・木質化 R&D センターです。

私たちは、サステナブルな素材である「国産材・無垢材」を使った素材の開発によって、あらゆる分野に木質化を促し、社会課題の解決に貢献したいと考えています。

## 外装に凸凹 Gywood®採用！タリーズ相模大野中央公園店

2026年1月23日（金）にオープンする「タリーズコーヒーロースター相模大野中央公園店」。こちらの店舗の外装に凸凹 Gywood®が採用されました！凸凹 Gywood®の外装における活用は、「ナイス本社ビル」「セブン-イレブン福岡ももち店」に続き、今回で3例目となります。



所在地：神奈川県相模原市南区

アクセス：小田急線 相模大野駅から徒歩約10分

設計監修：北畠栄建築研究所

施工：ナイスユニテック(株)

こちらの店舗は公園内にあるため、自然豊かな景観との調和を意識し、国産木材がふんだんに使用されました。外装に採用された凸凹 Gywood®は、オビスギの赤身（ObiRED®）にAZN乾式注入の防腐・防蟻処理を施すことで、耐久性を高めています。

また、凸凹 Gywood®は一般的な浮造りよりも深い凸凹と自然な立体感が特長の素材。公園広場に面した外装は、照明や自然光によって建物のファサードに美しい陰影をもたらします。

オープンに先立ち、昨年12月26日に開催された見学会には、1日で70名以上の方が来場され、多くの声をお寄せいただきました。皆様もお近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

### 【お寄せいただいた見学者の声（抜粋）】

- 店舗自体のプランディングにも活かせる。
- 公園の緑の中に佇む建物として違和感がなく、外壁も無垢材で触れてみたくなる印象。OPENした際には子供たちが建物に触れて自然素材の温もりを感じとることでしょう。
- 周囲の自然環境と調和し、木目の質感が深みを与えているように感じました。視覚的な心地よさがあり、自然の中で過ごしたくなる魅力的なデザインだと感じました。

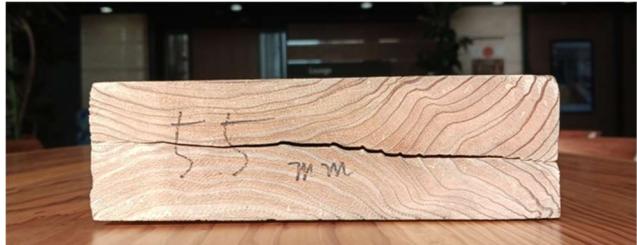
# 凸凹 Gywood®（でこぼこギュッド）って、どんな素材？

Gywood®（ギュッド）は、軟らかいスギの表層をギュッと圧密した素材。凸凹 Gywood®も同じくスギの表層を圧密していますが、つくり方の違いは2枚の板を重ねて圧密していること。

スギは硬い冬目（晩材）と軟らかい夏目（早材）の密度差が大きいユニークな樹種です。2枚を重ねて圧密することで、節や冬目などの硬い部分が軟らかい夏目部分を押し、自然で再現性のない凸凹形状が生まれます。



▼圧密された2枚のスギ板



▼2枚の板を開いて横に並べた画像



通常であれば、敬遠されてしまう節も、凸凹 Gywood®であればユニークなテクスチャーとして、むしろ好まれます。節あり材の有効活用にもなる素材です。

また凸凹した面も、通常の Gywood®と同じく表層は硬くなっていますので、外装に使用した際も、風化に強く、傷がつきにくくなります。

【施工事例：ナイス本社ビル】



【施工事例：セブンイレブン福岡ももち店】

